

AYA 世代乳癌患者の特徴と妊娠出産に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年12月20日～2024年12月31日

〔研究課題〕

AYA 世代乳癌患者の特徴と妊娠出産に関する研究

〔研究目的〕

AYA (Adolescent and Young Adult)世代の中でも30歳代で罹患率が高いのは乳癌です。AYA世代は結婚、妊娠、出産などのライフイベントが治療の時期と重なり、治療による妊孕性低下や妊娠出産時期が問題となります。今回の研究ではAYA世代乳癌の特徴、治療内容(化学療法の有無や妊娠による治療中断の有無等)、妊孕性温存や妊娠出産、乳癌の治療効果や再発リスクのデータを解析し検討します。

〔研究意義〕

AYA 世代乳癌患者さんの特徴を明らかにすることで遺伝学的背景や再発リスクに応じた適切な乳癌治療と妊孕性温存や適切な妊娠時期についての情報を共有し、それぞれの患者さんに合った共同意思決定をすることができます。

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属病院で2007年1月から2023年10月までの期間に手術を施行した20～39歳の原発性乳癌の患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、病理組織所見、妊孕性温存や妊娠出産歴に関するデータ等)を参照し、データを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、個人を同定できない形に加工したデータを用いて分析を行います。研究終了時、本研究に関わる資料およびデータは帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 神野浩光 職名 帝京大学医学部 外科学講座 教授
所属: 帝京大学医学部附属病院 外科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)